

価値観

ネイサン プリンス

世の中が若者に提示してくれる選択肢に対して、私は十分満足だと感じたことはありません。つまらない規則や無意味な何かに費やされる時間があまりにも多すぎる。いつもそう感じます。科学技術が発展している現代社会において、一律の休日を与えられ、決められた時間働かなければならないのはなぜでしょうか。テストでよりよい点数を取るため、就職するため、一定数の学生しか受け入れない学校に入学するため、そんなことのために、仲間と競い合わなければならないのはなぜでしょうか。世の中の価値観に対して冷ややかでありながらも、生活のためと言って、熱意を持ってない仕事をしなければならないのはなぜでしょうか。

ここで、世の中の価値観ということについて、考察を深めてみようと思います。私たちは、競争を是とする社会に生きています。常にトップを目指し、勝利のために戦うことを求められています。スポーツの世界であれ、学校生活であれ職場であれ、みな、一番を目指して競い合っています。これが、世の中がわれわれに植え付けた価値観の一つです。次に、消費です。たくさん消費すること、低品質であったり、使い捨てであったり、そういったものをたくさん消費すること。より多くの食品や薬品（砂糖、コーヒー、アルコールなど）を消費すること。さらに言えば、つまらない情報番組など、低品質でその場限りの情報、アフィリエイト広告だらけのネットニュース、ほとんど価値のないSNSニュースなどに、時間を浪費すること。人生において本当に大事なことから私たちの目を逸らすために、そうやって大量に消費するよう仕向けられているのです。

では、私が思う、人生で真に価値あるものとは何か。それはコミュニティーです。知識、機会、友人、住む場所、食べ物などを与えてくれるもの、それがコミュニティーです。コミュニティーに属する人々は、健康で幸福に暮らすために、お互いにたくさんのものを分かち合っています。私は日々の暮らしの中でコミュニティーへの帰属意識を大事にしたいと思っています。

次に、自然環境です。数多くの要素が複雑に関わり合いバランスを保っている自然の生態系によって、私たちの暮らす環境は成り立っています。人が新しい生命を育む源となり、その生命を維持し、私たちが口にする植物の生育を支える土台となる自然環境は、とても大切なものです。きれいな飲み水をつくり、空気を浄化し、暑い日差しを遮ってくれる木々を育ててくれます。人智を越えた素晴らしい自然のしくみは、計測できないほど価値あるものです。そして、私は自分自身を価値ある存在だと思っています。他の誰とも違って、自分なりの考えを持ち、夢があり、言葉にできないほどの可能性を秘めています。オープンで自分に正直です。そうあることで、人としてとても大切なものを育ててこられたのだと思っています。自分自身や自分の考え、自分の夢、自分の創造性を大事にすることで、私は私自身でいられます。正直で、謙虚で、優しく、また、力強く、そして自由な自分でいられるのです。

私の親世代の方々と何度も語り合う中で、私はこういう風に考えるようになりました。この世の中で、どうやって生きていくのかについて、私はたくさんの対話を重ねてきました。私はよくこのように聞かれました。「自給自足に興味を持っているんだね。でも、生活費はどうするつもり？旅行もしたいだろうし、病院に行く必要に迫られることもある。自分で育てられない食料品は買わなければならないし、住む家もある。そのお金はどうするの？」

質問に答える前に、こういった質問の前提となっていることを確認することが大切です。これらの質問は、お金と、お金で買えるものが大事だ、という価値観からきています。現代社会で「生活」していくために必要な「もの」は、お金がなければ買えない、という点については私も異論はありません。しかし、そういったお金で買える「もの」も、健全な自然環境やコミュニティー、自分が自分らしくいられること、それらが成り立って初めて意味をもつのです。

自分の子どもに、「将来どうやってお金を稼ぐの？」とたずねる親は、もっと根元的で重要な問題を無視しています。

ですから、「どうやってお金を稼ぐの？」と聞く前に、「環境レベルで、コミュニティーレベルで、そして個人レベルで、全ての生物にとって健全な持続可能型社会をつくるために、私たちができることは何でしょう？」と問いたいのです。（これは、今この時点で私が考えた問いです。同様な趣旨で、もっと深い問いかけがきっとあるでしょう。）

私は、みなさんに、価値観についてもっと深く考えていただきたいのです。メディア、学校、そして洗脳されてしまった人々によって、みなさんの中に放り込まれてしまった浅薄で無意味な価値観に染まらないよう気をつけてください。本当に大切なものは何かということについて、身近な人と話し合ってみてください。真に価値のあるものの手本となるモデルに対して目を見開き、耳をそばだててください。大切なことを教えてくれる人はあなたの周りにもたくさんいるはずです。彼らから真摯に学ぶという姿勢も忘れないでください。

訳: 小越二美 (Fumi Kogoe)